

倫理学（倫理学）

1 年次 前学期	授業科目責任者：高島 明（兼任講師：1 年次学年教育主任）
----------	-------------------------------

学習の目標 (GIO)	<p>次の三つの問題を倫理学で取り上げる。</p> <p>愛について キルケゴールの実存主義を取り上げ、ここから愛の本質について考える。</p> <p>偽りの宗教と本当の宗教 偽りの宗教と本当の宗教の違いについて述べる。その後、宗教のもつ意義を尋ねることとする。</p> <p>母性と父性について 家庭における母性と父性の果たす役割の大切さを述べた後で、男性と女性の自立の問題について考える。</p> <p>【到達目標】 私たちの社会は今変化の真っ只中にあるので、この社会が向かっている時代にふさわしい新しい価値観を学びとってほしい。</p>
授業担当者	高島 明
教科書	『生きることと愛すること』 高島明著（手作りのテキスト）
参考図書	『愛するということ』 E. フロム著 鈴木晶訳 紀伊国屋書店 『二十世紀からの手紙』 オーラブ・ハンセン著 山本隆久・高島明 共訳 シャローム印刷
実習器材	なし
評価方法 (EV)	試験の結果（6割程度）と平常点（4割程度）を総合的に判断して評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>学生の特権は時間が沢山あり、物質的に貧しいこと。この特権を通して、本当の意味での「豊かさ」について学んで頂きたい。</p> <p>【履修上の注意】 3分の2以上授業に出席すること。</p>

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月14日(木) 2時間	ガイダンス	講義で取り上げる内容について述べる。 大学での一般教育の必要性について考える。	高島明
4月21日(木) 2時間	個人主義と家族主義(1)	日本は家族主義の国が、個人主義の国が。 日本の家族の特徴について学ぶ。	同上
4月28日(木) 2時間	個人主義と家族主義(2)	日本は儒教の影響を受けている社会である。 孔子と儒教のシャマニズムについて述べる。	同上
5月12日(木) 2時間	個人主義と家族主義(3)	「いじめ」はなぜいけないのか。 孝と生命の尊重について学ぶ。	同上
5月19日(木) 2時間	父性と母性(1)	家族における父性と母性の違いを考える、 「場」を大切に社会とは、どのような社会なのか。	同上
5月26日(木) 2時間	父性と母性(2)	父性原理と母性原理からの道徳教育と家庭教育の違いについて。	同上
6月2日(木) 2時間	父性と母性(3)	倫理的基準の重層性について。 私たちの社会には、迷惑にならなくてもしてはいけないことがある。	同上
6月9日(木) 2時間	フロムの思想	愛は技術であると言うときの、技術とは何か。	同上
6月16日(木) 2時間	キルケゴールの思想(1)	誠実に生きることを学ぶ。 「主体性は真理である」・「愛の三段階」	同上
6月23日(木) 2時間	キルケゴールの思想(2)	「パラドクス」・「あれかこれか」 宗教は幻想なのか。	同上
6月30日(木) 2時間	偽りの宗教と本当の宗教(1)	信教の自由とは何か。 伝統的宗教と新宗教との違いは、どこにあるのか。	同上
7月7日(木) 2時間	偽りの宗教と本当の宗教(2)	偽りの宗教と本当の宗教の違いについて。 宗教の持つ意義を考える。	同上
7月14日(木) 2時間	生命倫理の問題	「インフォームド・コンセント」「人工授精」などについて考える。	同上
7月21日(木) 2時間	まとめ	今までに学んだことを復習し、質問に答える。	同上